



がま研 かわらぬ旅

第9号

平成16年7月2

発行

筑波山がまの

油売り口上研究会

夢中になるあまり、つい大道芸のなんたるかを忘れて目立ちたくなる我々に、会長より愛情のこもったご提言をいただきました。

大道芸の真髄を求めて!

林 正 一

昨年十一月二十一日〜二十三日まで、がまの油売りのルーツを求めて京都へ行ってきました。

何しろ『陣中膏がまの油』と言うが如く、一説には大坂冬の陣・夏の陣で使われた膏薬と伝えられているからです。私は、最初のがまの油を売り出した所を、京都の東寺で毎月二十一日に開かれる“弘法市”だろうと考えております。それを確かめたくて、今回 旅に出掛けることにしたので。早朝から日没まで開かれる“弘法市”をこの眼で一見しようと、二十日深夜につくばセンタービル発の夜行バスに乗り一路、京都に向かいました。翌朝6時過ぎにバスは京都駅に到着。朝食後、7時過ぎに東寺に行きましたら、約千軒の出店が軒を並べて開店の準備中。

地元では、昔から骨董市もいわれ、多くの方々に安く良い生活用品をいろいろと提供してきたようです。半日かけて全店舗を見て回りましたが、がまの油は何処にも売っていませんでした。しかし、昔は売っていたとしても不思議ではありません。かえって売っていない方が不思議なのかもいけません。会員の皆さん、東寺の弘法市は必見の価値がありますよ。

翌日は、太秦映画村に向かいました。以前に会員の村竹さんから、映画村で『がまの油売り口上』の実演を見て、「紙切りの素晴らしさと口上の面白さに驚いた」と言う話を聞いたのを思い出し、行ってみることにしたので。毎日四〜五回実演しているようですが、口上は筑波山の霊薬がまの油として話しておりました。伊吹山のがま口上かな?との期待感もあったのですが・・・

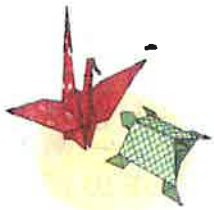
実演時間は、七〜八分間位でしたが時間の経つのも忘れる程、絶妙な話術とユニフォームあふれる振り付け、浪人のような着物姿。まさに大道芸の原点に触れたような気がいたしました。ややもすると、華美になりがちな服装、テール付近の飾りつけなど、売るための大道芸から見せるため(宴会芸やステーション芸)のがま口上になりつつある最近の演技。長く口上を述べるばかりが上手とは限りません。売るための口上として、原点に戻るべきだと反省させられました。

一緒に食事をした新聞記者がこんなことを話しておりました。「『秋田おばこ』と『津軽じょんがら』を比べてみてください。『秋田おばこ』は伝統を重んじるばかりに、あまり馴染みが薄く普及しないている。ところが、『津軽じょんがら』のほうは斬新な演奏の仕方やいろいろな唄い方をするなど創意工夫され、多くの人々に愛され続けている。」と言うのです。

がま口上にも何か共通することがあるのでは。

売るための口上ではなく、聞かせる口上や見せる口上ばかりしていると、人に感動を与えることはできません。落語調の聞かせるがま口上も結構ですが、今こそ大道芸の原点に返り、聞く人、やる場所、やる季節に應じた香具師本来のがま口上に近づくことが必要ではないでしょうか。売るための方法は十人十色、人それぞれに違って当たり前。現代では使わない分かりづらい言葉や並べると、自分だけのオリジナル口上を創作し実演するなど、『平成版がまの油売り口上』があっても良いのではないのでしょうか。もともと香具師が考案した「物を売るための口上」なのですから・・・正調や伝統などないのです。損得のために目争いをするようなことは、如何なものでしょうか。

会員の皆様、ボランティア活動を通してこれからも楽しくやりますよー!!



両手いっぱいポランテニア活動に

生きがいの日々

淀縄 光子

私は、いま明野町国際交流協会の副会長として、外国人のための日本語教室の講師を務め、町づくりのポランテニア活動に、退職後を一貫してその生きがいを確かめております。

いまの日本が抱える社会問題に、高齢、少子化に伴う労働力不足、嫁不足が深刻化しており、呼応して外国人の流入する現実が私の町にも波及し、好景気の頃は八百人も外国人が町内を闊歩する状況で、町としても外国人との共存社会がテーマに取り上げられました。私達の「国際交流協会」の発足は当然のタイミングでした。私達、主婦数人は、この中で日本語教室を立ち上げ、共存する外国人へのポランテニアとして交流の場を増やす手立てを考えました。お花見交流会、遠足、忘年会、スピーチコンテストと、四季を通じてのイベントを手がけました。その折々に撮ったビデオには外国人達の微笑ましい表情がうかがわれ、私達のこの活動の成果を味わっています。

また、母親となった外国人妻の異国での立場や生活に手を差し延べなくてはと考へ、「国際交流サロン」を開設して日本の伝統文化に親しんでもらうようにと、書道、生花、茶道などの体験の場を与えています。外国人達のこれらに取り組む

努力には感心させられ、上達の早さに驚かされながら、改めて交流の価値を感じています。

また、外国人の日本での不自由さへも手をさし延べて「漢字出前教室」をつくり、訪問による勉強の場、また母としてのお互いの話し合いの機会ができ、悩みごとや楽しさを分かちあえる交流の意義を高めています。

私のこれらの活動に至ったそもそものは、たまたま町の推薦で参加した北京での世界女性会議です。そこで知った地球の中の日本女性の恵まれた立場、環境に改めて自分を見直すキッカケとなり、私として何かができるのではと考える機会となったからです。

こうして、天性とも云えるポランテニア活動が、とどまる所を知らず、いま、私の中でまさに百花繚乱です。わが家の広い庭を利用してゲートボール場を造り、町内の老人へ提供する年一回の大会を主催したり、利用度の少なかった町のテニスコートの活用へ向けて、自らテニスクラブを立ち上げ、会長として推進し、今や、五十人を越す会員が夜間照明を浴びながらプレーを充実させ、町内の若い活気が充満しています。平成十一年の全国スボレク祭岐阜大会ではテニス部門茨城代表として出場の快挙ともなりました。

更に読み聞かせのサークルの中で、子ども達の情報教育のため、図書館での朗読劇や紙芝居の提供、食生活改善推進委員となって一人暮らしの老人への食事づ

くりと宅配等の福祉活動へも手を延ばして老人の笑顔と接しています。また、県の運動としての「大好きいばらき県民会議」「県西地区はつらつ百人委員会」の推進員をはじめ、最近では、ニユースポーツ(グラウンドゴルフ、パタンク、ローンボールズ、フライングディスク等八種目)の生きがい推進員に委嘱され、またまた県庁通いのマイカーを走らせています。さて、私の青春とも云える両手いっぱいポランテニア活動が災いしてか、がまの油売り口上の会員、平成九年の第一期生にもかかわらず、いまだデビューを果たせず、万年勘定方の役に甘んじています。

がまの油売り口上研究会の ホームページをご存じですか？

YAHOO などの検索はまだできませんが、
アドレスを入力して **お気に入り** に入れて
おきましょう。

書き込みも大歓迎！

ホームページ・アドレス

<http://members.jcom.home.ne.jp/gamaken/>

私は、紙芝居が大好きです。子ども頃は、紙芝居やのオジさんが、自転車に紙芝居を積み込んでやって来て、アメを売り、拍子木をたたきながら子どもたちを集め、巧みな話術で紙芝居が始まるのです。一枚の絵をつぎつぎ引き抜きながら文章を語り、セリフをいうのですが、ただそれだけのことなのに、演じる側とみる子どもたちの間に、ピーンとした緊張感が生まれます。まさしく小さな劇場が出現するのです。演じ手の熱演いかなよっては、みているものに大きな感想を与え、その場に共感の世界が広がります。私は、この魅力いっぱい紙芝居が、私

しびれるほど大好きなのです。紙芝居バンザイ。



近日公開！！オリジナル紙芝居

永井の兵助さんとガマの油

紙芝居に熱い思いを抱く宇野 昭さんが、がま研の発展・口上の普及をも願いながら描かれた力作。

近日公開予定。乞う、ご期待！

忘

れもしない、4月二十九日みどりの日。さしま少年自然の家、つどいの広場のことである。

「頭が真っ白になる」空白の時間が容赦なく私を襲ってきた。

昨年の秋から新治村の小町の里で、がまの油売り口上を教わって六ヶ月目、今日は初めてたくさんの皆様の前でやるのである。俗にいう「デビュー」である。

見渡すと観衆は、幼児、小・中学生を中心に付き添ってきた家族の皆さんである。

「新緑祭り」というだけあって、見えるのはマイナスイオンたっぷり新緑の林。清らかなせせらぎが流れている。

この日のために菅原公民館・乙戸沼と密度の濃い練習をしてきた。だが、「頭真っ白」空白の時間が私を襲っている。ふと、先生の言葉が、頭に浮かんだ。途中でとぎれたら、「さて、お立ち会い。さあーてお立ち会い」で、その場しのぎをすること。仁王立ちになり「さて、お立ち会い」と、ゆっくり自分に語りかける。

♪ ドキドキ・ワクワク体験記 ♪

初舞台、感動記 (^_^)

富山 田津子

「……遠慮は無用だ。買ったたり、買ったたり。」で口上は終わった。拍手をたくさんいただいた。人様の前で演じることが、私にとっては、たくさんの勇気が必要でした。しかし、始まってしまつと、あとはもう夢中です。のぼせた状態で始まり終わってしまったような、私の初舞台でした。「やればできる。」という自信はつきました。練習を重ねること。そして、その成果を発表する場をいただいた事に感謝しています。

先輩の皆様から、よく「場慣れ」という言葉を聞きました。これはどんぴしゃり。この言葉の意味がよく、解りました。たくさん人の前で演じないと見えてこないことが、たくさんあります。月一回の練習会にも参加できないこともあるけれど、継続は力なりです。この恵まれた環境を十分に生かして、これからも練習に励みたいと思います。

がま研 いんぷおめーしょん

これからの時期は、まさにガマ口上のシーズン。研究会にも何件か、依頼が入っています。是非都合をつけて、協力・応援をよろしくお願いします。主な参加先を掲載します。

★がま口上講座のご案内★

- 開催日：① 9月18日(土)
 ② 10月 3日(日) (注) ②は10月2日(土)が
 ③ 10月16日(土) 変更になりました
 ④ 10月30日(土)
 ⑤ 11月13日(土)

時 間：午前10時～正午

興味のある方、お知り合い
のお声かけをお願いします

場 所：新治村立「小町の館」

受講料：無料 定 員：30名

◇ 各種イベントへの参加協力 ◇

- ◎ 7月16日(金) 茨城県夏の観光キャンペーン(池袋サンシャインシティ)
- ◎ 7月19日(月・祝日) 12時30分
「いばらき湖沼環境フェスティバル」
霞ヶ浦総合公園・国民宿舎「水郷」
- ◎ 8月 1日(日) 11時～2時
「筑波山がままつり」
ケーブルカー山頂駅(御幸ヶ原)・つつじヶ丘ロープウェー乗り場付近
- ◎ 8月28日(土) 13時～16時
玉里村「玉里魔人祭」
大宮神社境内(玉里村役場向かい)
- ◎ 8月28日(土)・29日(日)
「まつりつくば2004」
詳細未定
- ◎ 8月29日(日) 全国Eポート大会(千代川村) 鬼怒川河川敷

編集子

ます。稿もお待ちして。想もお含め、次号の投。で、す。が、ご意。行に、こぎ、着。で、し、や、っ、と、の、思、い、で、行、に、こ、ぎ、着、け、て、お、早、々、見、し、ら、れ、る、の、か、？、い、か、け、が、見、ら、れ、る、の、出、か、け、が、み、が、効、ら、う、の、出、か、け、が、と、か、い、な、う、キ、な、涼、み、と、か、映、画、が、観、る、と、円、上、の、夫、婦、は、二、十、歳、以、上、の、お、人、様、は、五、十、歳、以、上、の、お、人、様、は、五、十、歳、く、だ、さ、い、。、体、調、に、ご、留、意、す、が、と、妙、な、気、も、留、意、よ、っ、と、と、妙、な、気、も、留、意、聞、か、れ、る、に、至、っ、ち、が、た、あ、け、て、ラ、シ、の、声、が、つ、ゆ、け、ら、ぬ、間、に、梅、雨

編集後記

